

総務厚生常任委員会

委員長 瀧尻行雄

保健事業に新たな取り組み

地域包括医療推進室が設置され、健診の受診率の向上、医師確保、保健指導への取り組みが強化され、健康なまちづくりが一層推進されます。

住民の皆さんも自発的に「飯南町の医療を守り支援する会」を設立され、協働により健康なまち作りが進められることを期待しています。

健康な集落づくりモデル事業への取り組みは平成21年で2地区でしたが、本年は新たに5地区が取組まれることになりました。また、感染症予防事業は肺炎

球菌ワクチン予防接種の実施、厚生労働省の積極的勧奨により日本脳炎予防接種に取組まれます。

保育所の視察



国保料引き上げと軽減制度

本年度の健康保険料は、医療費の平均値は若干下がったものの依然高い水準で推移していることと、基金残高が数年で枯渇する恐れがあるため、財源確保の必要があり、医療分を1人当たり10%引き上げます。しかし、後期高齢者分が減額となったため、月額1人当たりの負担は74円の引き上げとなります。また、倒産、解雇などで離職された方の国保料を軽減する制度が始まりました。

滞納解消に努力

平成22年5月31日現在の飯南町3税1料(個人住民税・固定資産税・軽自動車税・国保料)の滞納繰越分が1,679万円あります。引き続き収納に努力し、不公平感の解消に努めるように申し入れました。

職員の勤務時間、休暇が子育てに対応

飯南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正は、災害など臨時の勤務を除き、その子が小学校に入学するまでの間、時間外勤務を制限するよう請求が出来るようになります。

飯南町職員の育児休業に関する条例の一部改正は、育児休業をその子が3歳になるまで認めるもので、いずれも子育てしやすくする環境をつくるための改正です。民間企業には助成制度により取り組みを促しています。

子供手当等の実施に伴う税条例の改正

子供手当等の実施により、年少扶養親族の扶養控除および、高校無料化に伴い、特定扶養親族の上乗控除が廃止されます。これにより本年は対象世帯の負担が軽減されますが、平成23年以降の負担額が増加するとの試算結果もあり、国の政策ではありますが、反対する声がありました。



ポピーまつり/やまめのつかみどり

教育経済常任委員会

委員長 小野 覚

飯南町菌床椎茸生産施設の設置及び管理に関する条例

この条例は、「菌床椎茸の生産と振興を推進するために、飯南町菌床椎茸生産施設を設置する」ことを目的に制定するものです。

条例案を審査する過程で、施設の使用料について規定を設けるよう委員会として求めたところ、執行部から指定管理者との協定書の中で明確にすることで、委員会で可決。本会議でも可決され、飯石森林組合を本施設の指定管理者とする議案が追加提案され可決しました。



菌床椎茸生産施設

「琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設」及び「都市交流センター(やまなみ)」の指定管理者を指定する議案

これは、指定管理者として株式会社飯南トータルサポートを指定したいという議案です。審査を行う中で、「公募から選定に至る経緯・従来からの指定管理料との差異」に論点が集中したため、委員会条例に基づき議長を経て、山碓町長に委員会への出席を求め質疑を行いました。

町長から、指定管理費の積算根拠として、スキー場についてはこれまで1年9カ月の実績を検証し、山荘とやまなみは売上の15%としたなど、公募時の指定管理料を町長の裁量権によって見直したとの説明(別表)があり、委員会採決は賛成3反対2で可決しました。

(別表) 指定管理料 (単位:円)

施設名	区分	平成20年度実績(9ヶ月間)	平成21年度実績	飯南TSの提案額	協議後の決定金額
スキー場	限度額	17,039,400	20,500,000	20,500,000	10,500,000
	支出額	10,500,000	19,180,850	20,500,000	10,500,000
ビレッジ山荘	支出額			9,418,500	9,418,500
やまなみ	支出額			10,552,500	10,552,500
計		10,500,000	19,190,850	40,471,000	30,471,000

赤来中学校屋内体育館 大規模改修事業 … 1億2,843万円

耐震基準を満たしていなかった体育館の耐震補強に併せ大規模改修を行うことで、教育環境の向上と安全性の確保を図るものです(国県支出金3,135万円・町債9,680万円など)。

審査の過程で、教育委員会から、赤来中学校校舎の耐震工事と大規模改修について23年度完了を目指していることが明らかにされ、委員会としても今年度この事業が緒につくよう強く求めました。



赤来中学校体育館